

ALL JAPAN REVIVAL MISSION
NEWS
全日本リバイバルミッションニュース



ナガランド州コヒマ

「こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知っている」「というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるからです。」「こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。」

コリント人への手紙第Ⅱ 5章11節、14節、20節

キリストに代わって

ハレルヤ!

環・関西リバイバルミッションのため、祈り、捧げ、協力し、新しい魂を誘い、共に決心し、教会でフォローして、神の国の拡大と進展のために出来る限りの事をしてくださって心から感謝申し上げます。個人的な事ですが、私たちの二番目の六歳の孫が、メッセージに自分から応答し、両親に前に出ていいかと聞いて、既に去年洗礼を受けた10歳の兄と一緒に決心したということで、刈り入れの喜びを味わいました。

ハレルヤ!

更に燃え上がるために 「主を恐れる」

一度キリストに出会い、キリストを救い主、人生の主と迎えた使徒パウロは、生涯を貫いて、有終の美を飾りました。彼のその生涯の秘訣は、3つあります。1つは、「主を恐れる」という神学の分野からくる、キリスト中心の心です。裁きも愛も救いもこの神から来ます。その真ん中にキリストの十字架が立っています。このキリストを十分知ったのです。

更に燃え上がるために 「キリストの愛に取り囲まれる」

パウロの生涯の秘訣の第二は、「キリストの愛に取り囲まれる」という体験の分野からくる、キリストに満ちた心です。サマリアの女は「来て見なさい」と言い、目の不自由だった人は「今、見える」と言い、アンデレはシモンに「メシヤに会った」と言い切りました。体験がものを言うのです。キリストに満ち満ちて、溢れずにはいられないというのです。

更に燃え上がるために 「キリストに代わって」

パウロが生涯をかけて有終の美を飾れたの

は、「キリストの使節」という服従の分野からくる、キリストに従う心です。大使は自分の国を代表し、別な国で生きます。母国の栄光は、使節の手中にあります。キリストは天の栄光を捨て、この地に来られ、誕生、生涯、十字架、復活、昇天、即位され、今や全世界の支配者として、更に全世界、全宇宙を完成し、新天新地を再創造されます。それは間もなくです!

「キリストに代わって」

特にこの終末の時、初めにエデンの園で受けた、神からの二重の使命:生めよ、ふやせよという霊的使命、地を治めよという管理使命を今こそ私たちがキリストに代わって実行に移す時です。私たちは神無くして、何も出来ません。神も私たち無くして、何もしようとはなさいません!

「主を恐れ」、「キリストの愛に取り囲まれ」、「キリストの使節」となり、キリストの代わりとして、二つの使命をしっかり果たしましょう!



●全日本リバイバルミッション代表
●リバイバル聖書神学校名誉校長
Kiichi Ariga
有賀喜一

感謝報告!



KAN-KANSAI REVIVAL MISSION 2014

八尾福音教会牧師 道本純行

尼崎市・堺市・八尾市と各2日間、計6日間の環・関西リバイバルミッションのうち、私たちは八尾大会に照準を合わせ、約5万5千枚のチラシの責任を持ちました。10人内外の方が特別重荷を持って配布されました。集会のあらゆる責任は全日本リバイバルミッションが持ち、私たちはお客として迎えられました。音楽・メッセージも素晴らしく、当教会関係の昔の方々、求道者、友人知人も多く出席できたようです。「一人の魂が悔い改めたら天において大きな喜びがある」あの大会からイエス様を告白して、天に名が記された人々も少なくなかったと思います。どの会場も収容人数の半分がそれ以下の出席であったようです。しかし誰もが「(神の恵みは)素晴らしかった」と告白できるものでした。ご協力感謝します。



FGBジャパン会長 塚本 謙一郎

8月23日(土)、環・関西リバイバルミッション尼崎大会に、一日だけ、それも夜の部だけですが、参加することができました。そこで、久しぶりに滝元明先生の救霊の情熱にあふれた熱いメッセージを聞くことができ、本当に感動しました。

私が高校3年生の時、1976年だったと思いますが、神戸クルセードという伝道大会が神戸文化ホールの大ホールで数日間持たれました。大学受験を控えていた大事な時期でしたが、神戸市の諸教会の有志によって構成された連合聖歌隊の一員として奉仕をしました。そのときのメッセンジャーが滝元明先生で、毎晩先生のお話を聞き、感動し、涙を流したのを覚えています。

私がFGB日本の働きをするようになって、滝元先生と個人的にお話する機会が何度か与えられました。そのたびに、先生の謙遜さと、救霊に対する変わる事のない情熱、イエスさまに対する愛と信仰の深さに頭が下がる思いでした。私たちFGBは、社会で働く兄弟姉妹を励まし、マーケットプレイスで神を証し、人々を救いに導くミニストリーに召されているのですが、滝元先生のように、さらに熱い情熱と使命感を持って働きを進めていかなければと思っていました。

先生はもう85歳になられるそうですが、天国に凱旋されるまで、ますます聖霊に満たされ、一人でも多くの方々に神の言葉を語り、福音を知らせ、救いへと導いていただきたいと思います。また、有賀先生、全日本リバイバルミッションの先生方、賛美チーム、スタッフ、すべての奉仕者の方々の上に、主の豊かな祝福があり、日本のリバイバルのために力強く用いられますように心からお祈りいたします。



八尾福音教会員 三上保代

主の御名を賛美いたします。

5月から始まった環関西リバイバルミッション「やっば祈りやねん」準備祈禱会へ、道本先生、教会の姉妹を通して導いて頂き、熱いお祈りとすばらしい主の臨在の賛美の中、聖霊様の喜びと伝道の力を頂きました。8月末の堺大会では、ロン・ブラウンさんとティム・ケブラーさんのすばらしい賛美に心を打たれ、Zawamekiの皆様の賛美に力を頂きました。迫力ある平岡先生のメッセージによって、私の姉がイエス様を受け入れました。喜びの中で踊っていました。姉の義母も神さまを信じるようになり家族が祝福されています。

9月5・6日の八尾プリズムホールでの集会では、沢山の方がロン・ブラウンさんの証しトラクトを持って来場して下さり嬉しかったです。八尾福音教会を通して伝道できた事も主の恵みでした。滝元順先生の関西の霊の打ち破りの祈りと霊的戦いの学びは、大切な感謝の時間でした。綺麗な映像と共に流れる井草聖二さんのギター、デュオ高瀬さんのバイオリンに皆さん感動されていました。滝元明先生のメッセージに感銘を受けた沢山の方が前に出て行かれ、悔い改めに導かれた方、聖霊の火をもらったと喜んでいました。皆が主の臨在の中でイエス様の大きな愛を頂いて幸せでした。すばらしい神さまの働きが全世界へと流れてゆきますように心より感謝してお祈りいたします。関西の霊の扉を開いてくださった恵みに感謝いたします。 栄光在

「環太平洋リバイバルミッション」 インド・ナガランド訪問

来年計画されています「環太平洋リバイバルミッション」の話し合い等のため、11月5日[水]～12日[水]まで滝元順師がインド・ナガランド州を訪問します。ぜひお祈りください。現時点での予定としては、7日[木]もしくは8日[金]にマニプール州インパールにて牧師先生方との話し合い、その後ナガランド州コヒマ町に移動し10日[月]に牧師会を持つ計画がされています。

2015年ナガランド・リバイバルミッションにむけて

ナガランドと日本の教会

インドの最東部にあるナガランド州、その州都コヒマ。ナガランド州に隣接するマニプール州の州都インパール。今ではあまり知られない名前かも知れませんが、コヒマ、インパールの名前は、戦中を生き延びた世代が100パーセント知る戦地です。

約70年前、1944年の5月から7月、ビルマ(現ミャンマー)から約9万人に及ぶ日本兵とインド兵約6000名が、「インパール作戦」と名付けられた戦いに投入されました。結果、多くの兵士が戦死し(その大半が病死、餓死)コヒマ、インパールから日本に帰還した兵士は約12000名のみだったといえます。無謀な作戦が生み出した悲惨な結果でした(インド国民軍の兵士の多くも戦死しました)。

何故、インドまで戦いを拡げていったのでしょうか。1941年から「大東亜共栄圏」と国民に謳われた地域がありましたが、その地域の中にインドが含まれていたことが一つの理由といえます。

これらの地域に私たち日本の教会はどのように関わっていくべきなのかと考えさせられます。このように悲惨な戦争は、軍部の独走によってだけ生まれたものではありませんでした。

戦前、戦中、日本の教会は天皇に忠誠を誓い、その祖先神であるアマテラスとされる神々のもとに膝をかかめ、戦争に積極的に関わっていた事実を忘れてはなりません。ある意味では日本の教会もインパール作戦に加わっていたことになるわけです。70年経った今、日本の教会に負わされた責任があります。それは「大東亜共栄圏」の

For our 20th Anniversary:
Asia/Pacific Rim Mission

国々に福音を宣べ伝えていくことだと信じます。福音宣教こそ「返さなければならない負債」なのです。

「慰霊団は頻りにこの地域に来るけれど、日本のクリスチャンは何故来ないんだ」というナガランド地方のクリスチャンの声があるといえます。ナガランド地方はインドにあっては特異な地域で、キリスト教徒がほとんどだといわれます。しかし、多くの課題があり、「名ばかりのクリスチャン」も多いといえます。このような状況は、パプアニューギニアやソロモン諸島、南洋諸島など多くの激戦地でも起きています。

日本の教会がこれらの地域に本気で重荷を持ち、現地の教会に仕えつつ、福音宣教に関わらせて頂くことは、日本のリバイバルに欠くことの出来ない働きになると信じます。

滝元望(SIRネットワーク代表)

2015年、日本国内の大会も現在計画中です! [詳細は次号で]

2015年度新規入学生募集!

リバイバル聖書神学校は、日本とアジア、世界のリバイバルの働き人を養成することを目的として、1996年の創設以来200名以上の働き人を送り出してきました。あなたもリバイバル聖書神学校で学んで、リバイバルのための勇士となりませんか?

出願締切●第一次締切:2015年3月末日/第二次締切:2015年6月末日
早期出願特典:2015年2月末日(必着)までに出席された方は、入学金20%OFF!

◎予科のご案内 リバイバル聖書神学校では、2014年度より、通常の学びのコースである本科(教室制・通信制)に加えて「予科」のコースを新設しました。予科は次のような特色があります。

- ・諸般の理由で本科の入学条件に満たない方でも受講可能です(ただし理事会による審査があります)。
- ・本科生同様にすべての授業を受講し単位を取得することができます(課題提出義務があります)。
- ・在学中に本科への入学条件が満たされた場合、途中で本科に編入可能です。
- ・卒業・修了の認定はありません(本科に編入しない場合)。
- ・入学金は不要です(本科編入の時点で必要となります)。
- ・聴講生とは異なり、通年受講が必要となります。

◎神学校での学びの新しいオプションとして、ぜひご参考になさってください。
◎詳しい入学条件など、詳細は事務局までご連絡ください。

リバイバル聖書神学校の特色

- ①知性と実践のバランスがとれた神学校です。
- ②「霊的戦い」の学科を本格的に取り入れている、日本で唯一の神学校です。
- ③働きながら学べる集中講義システムです。(毎月4日間の集中講義と3週間の所属教会実践)
- ④教室制に加え、通信制による学びを併設。
- ⑤各自の召命の違いにより1~3年コースの選択が可能です。
- ⑥将来本科への編入を目指す「予科」の制度もあります。
- ⑦教派を超えた交わりができる神学校です。
- ⑧アジア神学協議会(ATA)準加盟校です。

2014年度11月・12月スケジュール

※講師・講義科目・講義日程等は、変更になる場合があります

<p>11月11日[火]</p> <p>1階~3階:救世の動力(有賀喜一)</p> <p>4階:新約聖書の背景(山崎ランサム和彦)</p> <p>5階:特別講義 質美と霊的戦い(滝元順)</p>	<p>12月2日[火]</p> <p>1階~3階:1-2テサロニケ(平岡修治)</p> <p>4階:2ペテロ・ユダ書(有賀喜一)</p> <p>5階:特別講義(滝元順)</p>
<p>11月12日[水]</p> <p>1階:新約聖書の背景(山崎ランサム和彦)</p> <p>2階~3階:キリスト教倫理(平岡修治)</p> <p>4階:教会史(福澤雄野)</p> <p>20:00~ 祈りの森祈禱会</p>	<p>12月3日[水]</p> <p>1階~2階:2ペテロ・ユダ書(有賀喜一)</p> <p>3階~4階:ヨハネの黙示録(山崎ランサム和彦)</p> <p>20:00~ 祈りの森祈禱会</p>
<p>11月13日[木]</p> <p>1階~2階:教会史(福澤雄野)</p> <p>3階:キリスト教倫理(平岡修治)</p> <p>4階:新約聖書の背景(山崎ランサム和彦)</p> <p>5階:1年生・聖書解釈学入門(山崎ランサム和彦)</p> <p>2-3年生・弟子訓練の理論と実際(有賀喜一)</p>	<p>12月4日[木]</p> <p>1階~3階:戦場的霊的戦い(滝元順)</p> <p>4階:ヨハネの黙示録(山崎ランサム和彦)</p> <p>5階:1年生・聖書解釈学入門(山崎ランサム和彦)</p> <p>2-3年生・弟子訓練の理論と実際(有賀喜一)</p>
<p>11月14日[金]</p> <p>1階:新約聖書の背景(山崎ランサム和彦)</p> <p>2階~4階:霊的戦いの諸相(滝元順)</p>	<p>12月5日[金]</p> <p>1階:ヨハネの黙示録(山崎ランサム和彦)</p> <p>2階~4階:霊的戦いの諸相(滝元順)</p>

中澤啓介師 特別公開講座 DVD好評発売中!

8月に行われた特別公開講座「21世紀リバイバルのための神学を求めて」のDVDを発売しています。

1講義:2,500円[税込]

◎全7講義セット ◎割引価格
~~17,500円~~▶15,000円[税込]

送料:500円[2講義以上注文の方は無料]
ご注文は神学校事務局まで。

※1講義のDVDが2枚組になる場合があります。
講義時間、枚数にかかわらず、1講義あたりの価格を2,500円とさせていただきます。

無料体験入学実施中!

- ◆毎月行われているリバイバル聖書神学校の授業を受講することができます。
- ◆登録料・授業料無料! 滞在費(食費・宿泊費)のみで参加できます。
- ◆年間を通じていつでも、1講義から参加できます。
- ◆無料体験入学をご希望の方は、神学校事務局までお問い合わせください。
- ◆無料体験入学はお一人様1回限りとさせていただきます。通常の聴講は随時受け付けています。

◎お問い合わせ資料請求は今すぐ! 神学校事務局まで

REVIVAL BIBLICAL SEMINARY

リバイバル聖書神学校

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1 ●Tel.0536-23-6720 Fax.0536-23-6220
E-mail seminary@j-revival.com ホームページ http://www.j-revival.com/rbs/



DVD講座のご案内

1講義(90分2,000円)からでも受講可能!
登録無料、ご注文合計3,000円以上の場合、送料無料でお届けします!
便利でお得なDVD講座をぜひご利用ください。

- ◎10月度の講義

教会書論4-7 山崎ランサム和彦(全7講義)	キリスト教倫理1-3 平岡修治(全6講義)
聖書解釈学入門6 山崎ランサム和彦(全11講義予定)	霊的戦いの諸相13-15 滝元順(全27講義予定)
救世の動力4-6 有賀喜一(全9講義予定)	
- ※講義の時間数は変更になる場合があります。*DVDによっては、神学生のみへの提供となるものもございます。あらかじめご了承ください。

賛美と祈りで綴る24時間の集会



夕食は70種類のブッフェ!

2015年新春24時間



開催日時/2015年1月2日[金] 12:00-3日[土] 12:00

開催場所/新城教会 〒441-1307愛知県新城市富沢407-1

参加費/大人3,500円[登録費1000円・夕食1000円 仮飯・朝食1500円]

※70歳以上の方には優待あり[登録費免除、夕食を800円に優待] ※小学生は登録費なし、夕食500円

70キーワードのスタンプラリー◎豪華賞品あり

※長時間参加すればするほどポイントゲット! ※先着200名様限定。

戦後70年、バビロン捕囚からの解放の年

The Mission 70

申し込み期限
12/28[土]締切
お早めにお申し込みください。

霊的戦い専門課程、新年度開講!

3年目を迎えた霊的戦い専門課程では、教会伝道の現場で霊的戦いを実践しておられる方々のために、一歩進んだ霊的戦いの学びを提供しています。初めての方も、ぜひご参加ください!

2014年度「第3回霊的戦い専門課程」のご案内

日本で初、もしかしたら世界初の、霊的戦いについて専門的に学べるコース「霊的戦い専門課程」は、2012年度に開講以来、早3年目に入りました。毎回、宣教の現場で働いておられる、牧師、スタッフ、リーダーたちが全国から集まり、熱い学びと実践の場となっています。この働きは、私にとっても、大きなチャレンジでしたが、今や、重要な働きとなりました。何かと論議が多く、誤解されがちな霊的戦いを、聖書からしっかりと定義すると共に、悪魔が時代を超え、手を変え品を変え置き続けている

策略を見破り、神の国の到来を準備する働き、それが「霊的戦い」です。「霊的戦い専門課程」の特徴は、毎月、目からうろこの新鮮なトピックが学べるのと同時に、実際に地域に出て行って、悪魔の策略を目で確認し、とりなしの祈りが出来る事にあります。今年は、「経済」の領域にある悪魔の策略について、シリーズで学ぶパートも毎月用意しています。私自身も主に期待し、興奮しています是非、ご参加ください。

霊的戦い専門課程主講師 / 滝元順

10月度日程 ● 2014年 **10月27日[月]** 10:00 - **28日[火]** 16:00
費用:全参加14,139円(税込) [食費・宿泊費含む]

■お問い合わせ、参加申込みは、神学校事務局まで。

※霊的戦い専門課程は通常のセミナーとはことなり、教職者および教会による推薦を受けた方々を対象として開講しています。信徒として個人的に霊的戦いの学びを希望される方は、神学校の聴講あるいはDVD講座の受講をおすすめします。



リバイバル聖書神学校
Revival Biblical Seminary

権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって [ゼカリヤ4:6]

11月以降の専門課程スケジュール

2014年	2015年
11月24日(月) - 25日(火)	1月26日(月) - 27日(火)
	2月23日(月) - 24日(火)
	3月23日(月) - 24日(火)
	4月27日(月) - 28日(火)
	5月25日(月) - 26日(火)
	6月29日(月) - 30日(火)
	7月27日(月) - 28日(火)

※予定は変更になることがあります。

歌おう! 日本の回復を! 叫ぼう! 主への賛美を!

Zawameki 2014 Schedule



ハレルヤ、主に新しい歌を歌え。聖徒の集まりで主への賛美を。 [詩篇149:1]

11.1 sat 14:30~
Zawameki Worship Shout 東京 Vol.129
会場 / 南麻布セントレホール
東京都港区南麻布4-12-25 南麻布セントレ

11.8 sat 14:00~
Z.C.L at 宮之城キリスト教会
鹿児島県薩摩郡さつま町船木22-11

12.6 sat 14:00~
Z.C.L at 東京希望キリスト教会
東京都武蔵野市境南町2-28-15 マンション1F

11.2 sun 10:30~
Z.C.L グレイスライフチャーチ
静岡県浜松市中区上島3-27-13
アリアンサ クリスタン教会(ブラジル教会内)

11.9 sun 10:30~
Z.C.L at 南さつまキリスト福音教会
鹿児島県南さつま市加世田本町27-16

12.7 sun 10:00~
Z.C.L at 炎リバイバル教会
東京都足立区西が丘2-3-6

11.7 fri 19:30~
Z.C.L at ホープチャペル鹿児島
鹿児島県鹿児島市港4-5-15

12.5 fri 18:30~
Zawameki Worship Shout 東京 Vol.130
会場 / お茶の水クリスチャンセンター
アイリーン・ホール
東京都千代田区神田駿河台2

クリスマスは賛美を街に響かせよう!
Zawameki 街角同刻プレイズ
12月25日[木] 3:00pm - 4:00pm

2014 Vol.27
東京は、代々木公園野外音楽ステージにて開催!

2015年はあなたの教会で
Zawameki's Church Liveを
開催してみませんか!

Zawameki Church Live 開催教会募集中!

力の限り、心から主に向かって賛美をおさげします! 賛美の中で主のみ業が現されることを信じ、2015年は、ぜひあなたの教会でZawameki Church Liveの開催をご検討ください。

- 開催費用は献上金と交通費のみで開催できます。(に相応にのみです。)
- 伝道バージョンでも開催いたします。
- プログラムは賛美のライブトークで約2時間間の賛美集です。まずは、お気軽にお電話にてご相談ください!
- 次の日まで無料でZ.C.Lチラシを提供いたします。

Zawameki事務局 TEL.0536-23-0024

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
Tel.0536-23-0024 Fax.0536-23-6220
club@zawameki.com
http://www.zawameki.com
郵便振替Zawameki口座番号 00880-9-56347



会計報告 2014年9月度		
収 入		支 出
前月繰越金	344,871	
一般献金	3,613,795	事務運営管理費 1,335,769
CD献金	26,949	一般献金交通費 106,442
浸信大会献金	436,500	通信費 428,276
福 岡西本大会献金	1,373,573	印刷費 464,788
奨励金	17	浸信大会講師費 304,068
		本大会経費 3,644,433
収入合計	5,652,834	支出合計 5,284,276
		次月ミッション関係金 -286,571
前月ざわめき繰越金	45,107	
ざわめき献金・集金収入一式	389,699	ざわめき経費一式 224,794
		次月繰越金 209,012

いつも全日本リバイバルミッションのためにご支援くださり感謝いたします。皆様のご参加と献金、お祈りを心から感謝いたします。今月は環・関西リバイバルミッションの支払いなども多くあり、マイナスの報告となっています。また10月に本大会でカード決済をした分の支払いなどもあり、厳しい状況です。また来年のインドナガラランドをはじめ国内での集会も計画されつつあり、打ち合わせなどの交通費などの出費が今後予定されています。是非必要のために読んでお祈り、ご支援くださいますようお願いいたします。

ALL JAPAN REVIVAL MISSION
全日本リバイバルミッション ☎0120-291-372

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
Tel.0536-23-6712 Fax.0536-23-6220
http://www.j-revival.com office@j-revival.com
※次刊12月号は11月15日発行予定です。